

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	一般基礎教育 1
科目基礎情報					
科目番号	0019	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	商船学科	対象学年	1		
開設期	通年	週時間数	前期:2 後期:2		
教科書/教材	特定の教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布する。なお、英語は英検対策のテキストを必要に応じて購入する。				
担当教員	西川 雅堂				
到達目標					
① 高専生として主体的に学習する姿勢を培う。 ② エンジニアとして社会でキャリアを積み上げていくための礎をつくる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	熱心に演習に取り組み、明確な成果を上げることができる。	熱心に演習に取り組むことができる。	演習に出席できない。		
評価項目2	ノートを取りながら授業を受け、自分の将来のことを考えながら、幅広い知識を身に付けることができる。	ノートを取りながら授業を受け、必要な知識を身に付けることができる。	ノートが取れない。		
評価項目3	真剣に話を聞き積極的に物事に取り組むことができる。	話を理解し、物事に取り組むことができる。	話を聞かず、物事に取り組めない		
学科の到達目標項目との関係					
教育目標 (A1) 教育目標 (B4) 教育目標 (B5)					
教育方法等					
概要	一般基礎教育 1は、キャリア教育と英語基礎演習・数学基礎演習を、5・6限に隔週でおこなう。各学期に数回、講演会などが実施される。また、本校の教育課程には含まれていない内容についても学ぶ。				
授業の進め方・方法	授業は、教室か視聴覚教室のいずれかでおこなう。実施教室、担当教員についてはその都度確認すること。基礎演習は英語と数学をメインに実施する。英語は原則として習熟度別で授業をおこなう。クラス分けについては、ベネッセ・スタディサポート、中間試験、期末試験の結果によって決定する。				
注意点	合格・不合格のみで評価し、評点はつけない。 合格・不合格は出席、課題の提出(期限内に提出しているか、課題の内容)を評価対象とする。 なお、授業態度によっては欠席となる場合があるので注意すること。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	一般教育紹介/学生相談室紹介/オリエンテーション旅行説明	一般教育について説明できる。メンタルヘルスについて理解する。オリエンテーションの内容を理解する。	
		2週	数学基礎演習	基礎学力を確認する。	
		3週	スタディサポート結果の見方・コミュニケーション力向上	学習方法の見直し方を理解する。対人関係を身に付けるうえで必要なコミュニケーション力を学ぶ。	
		4週	漢字テスト	漢字テストについて説明できる。	
		5週	観劇	こころを育む。	
		6週	スマホ安全安心講座	スマートデバイス利用上の注意点を説明できる。	
		7週	中間試験対策	中間テストのための勉強を行う。	
		8週	講演 これから必要とされるコミュニケーション力について	外部講師を招きコミュニケーション力とは何かについて学ぶ	
	2ndQ	9週	キャリアの形成について/海学祭について	社会人としてのマナーを説明できる。本校の文化祭である海学祭を実行する上での注意事項について理解できる。	
		10週	英語基礎演習	基礎学力を確認する。	
		11週	消費者教育	金銭に関するトラブルの予防方法を説明できる。	
		12週	英語基礎演習	基礎学力を確認する。	
		13週	性教育	望まない妊娠や性感染症の予防方法を説明できる。	
		14週	英語基礎演習	基礎学力を確認する。	
		15週	検定試験について(一般・専門)/国際交流プログラム	修得単位として認定される技能審査について説明できる。参加可能な国際交流プログラムについて説明できる。	
		16週			
後期	3rdQ	1週	前期振り返り/学習状況調査	基礎学力を確認する。	
		2週	数学基礎演習	基礎学力を確認する。	
		3週	英語基礎演習	基礎学力を確認する。	
		4週	数学基礎演習	基礎学力を確認する。	
		5週	英語基礎演習	基礎学力を確認する。	
		6週	英語基礎演習	基礎学力を確認する。	

4thQ	7週	GTEC (Basic)	GTEC (Basic) を実施し、基礎学力を確認する。
	8週	数学基礎演習	基礎学力を確認する。
	9週	英語基礎演習	基礎学力を確認する。
	10週	数学基礎演習	基礎学力を確認する。
	11週	英語基礎演習	基礎学力を確認する。
	12週	英語基礎演習	基礎学力を確認する。
	13週	漢字テスト	漢字テストについて説明できる。
	14週	英語基礎演習	基礎学力を確認する。
	15週	GTEC (Basic) の振り返り/スクールカウンセラー講話	メンタルヘルスを維持する。 基礎学力を確認する。
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	国語	実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	1		
			報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	1		
			収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	1		
			報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	1		
			作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	1		
			課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	1		
			相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	1		
			新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	1		
		社会	公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。	1	
			現代社会の考察	自分が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	1	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	1		
			他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	1		
			他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	1		
			日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	1		
			円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	1		
			円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	1		
			他者の意見を聞き合意形成することができる。	1		
			合意形成のために会話を成立させることができる。	1		
			グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	1		
			書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	1		
			収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	1		
			収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	1		
			情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	1		
			情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	1		
			目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	1		
	あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる。	1				
	複数の情報を整理・構造化できる。	1				
	課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	1				
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	1	
				自らの考えで責任を持つものごとに取り組むことができる。	1	
目標の実現に向けて計画ができる。				1		
目標の実現に向けて自らを律して行動できる。				1		

			日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	1	
			社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	1	
			チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	1	
			チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	1	
			当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	1	
			チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	1	
			リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	1	
			適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	1	
			リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	1	
			法令やルールを遵守した行動をとれる。	1	
			他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	1	
			技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。	1	
			自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	1	
			その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状に必要な学習や活動を考えることができる。	1	
			キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	1	
			これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	1	
			高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でのように活用・応用されるかを説明できる。	1	
			社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	1	
			コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	1	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	授業参加	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0